糖尿病教育入院クリティカルパス電子化の評価. 小堀祥三, 市原ゆかり, 児玉章子, 高橋毅, 東輝一朗, <u>宮﨑久義</u>. 日本医療マネジメント学会雑 誌 7(2):315-319, 2006

「わかりやすい糖尿病テキスト」宮﨑久義他共著, じほう. (2000)

河合 伸也

山口大学名誉教授 (医学部整形外科)

整形外科学、リハビリテーション医学

Enlargement of the lumbar vertebral canal in lumbar canal stenosis, SPINE 6:381-387, 1981

Reconstruction of the thumb with a free wrap-around flap from the big toe and an iliac-bone graft, The Journal of Bone and Joint Surgery, 67 A:439-445, 1985

Cervical laminoplasty (Hattori's method) - procedure and follow-up results -, SPINE 13:1245-1250, 1988

岡崎 令治

名古屋大学分子生物学研究施設教授

分子生物学

Mechanism of DNA chain growth. I. Possible discontinuity and unusual secondary structure of newly synthesized chains. <u>Okazaki R</u>, Okazaki T, Sakabe K, Sugimoto K, Sugino A. Proc Natl Acad Sci USA. 1968 Feb; 59(2): 598-605.

「岩波講座現代の生物学 第3巻:遺伝」<u>岡崎令治</u>他共著,岩波書店,(1967).

In vivo mechanism of DNA chain growth <u>OKAZAKI, R.</u>, T. OKAZAKI, K. SAKABE, K. SUGIMOTO, R. KAINUMA, A. SUGINO, and N. IWATSUKI, Cold Spring Harbor Symposium, 1968

障害保健福祉総合研究事業事前評価委員名簿

(O:委員長)

北沢 清司

高崎健康福祉大学健康福祉研究科保健福祉学専攻·健康福祉学部保健福祉学科 教授

障害者福祉論

「放課後児童クラブにおける障害児の受け入れに関する調査研究」北沢清司他著. 平成13年度厚生労働省児童環境つくり等総合調査研究報告書(2002)

「障害者福祉サービスの発展」「障害者福祉サービスの概要」北沢清司.「新版障害者福祉論」建ぱく社(2004)

「知的発達障害Q&A」北沢清司編著. 中央法規出版(1996)

栗田 広

社会福祉法人全国心身障害児福祉財団 全国療育相談センター・センター長

児童精神医学

Reliability and validity of the Pervasive Developmental Disorders Assessment System. <u>Kurita H</u>, Koyama T, Inoue K. Psychiatry Clin Neurosci. 2008; 62: 226-233.

External validity of childhood disintegrative disorder in comparison with autistic disorder. <u>Kurita H</u>, Osada H, Miyake Y. J Autism Dev Disord. 2004; 34: 355-362.

School refusal in pervasive developmental disorders. <u>Kurita H.</u> J Autism Dev Disord 1991; 21: 1-15.

山村健

川崎医療福祉大学・大学院教授(臨床心理学専攻) 社会福祉法人旭川荘専務理事 日本知的障害者福祉協会理事・副会長

医療福祉学、心理学

重度心身障害への生理心理学的接近-自己表現、自己実現と自己コントロールー, 山村健, 関西学院大学博士論文, 1990

知的障害児施設に関する実態と課題把握のための調査「知的障害児施設に関する実態及び問題点と今後への提案」、山村健(分担研究者)、

障害者(児)の地域移行に関連させた身体障害・知的障害関係施設の機能の体系的なあり方に関する研究報告書(平成 16 年度厚生労働科学研究障害保健福祉総合研究事業-主任研究者: 岡田喜篤), pp. 361-409, 2005

知的障害児施設に関する実態及び問題点と今後への提案, 山村健(分担研究者), 施設体系のあり方に関する研究報告書・財団法人日本知的障害者福祉協会施設体系のあり方に関する検討委員会, pp. 105-153, 2005

越野好文

粟津神経サナトリウム・顧問

精神医学

Individual analysis of EEG band power and clinical drug response in schizophrenia. Kikuuchi M, Wada Y, Higashima M, Nagasawa T, Takeda T, Koshino Y. Neuropsychobiology 51:183-190, 2005.

こころのレスキュー・越野好文、志野靖史・北大路書房・2002

好きになる精神医学・越野好文、志野靖史・講談社・2004

関寛之

目白大学保健医療学部教授

整形外科学

連携による在宅ケアの結果と医療機関の役割. <u>関寛之</u>、桜井保之、今高國男、室生勝、三沢晴子、土屋滋. 日本プライマリ・ケア学会誌. 16(4). 399~404. 1993

大腿骨頚部骨折患者の予後と予後に影響を与える因子. <u>関寛之</u>、桜井保之、今高國男、室生勝、三沢晴子、土屋滋. 日本プライマリ・ケア学会誌. 19(1).73~79.1995

「整形外科学・外傷学 第7版」分担執筆、リハビリテーションの基本 (P314~325) 関寛之. 文光堂 (2005)

鈴木恒彦

大阪府立急性期・総合医療センター副院長